

# 営農技術情報

～トマト防除～

平成29年 5月 19日発行

日高農業改良普及センター日高西部支所  
TEL01457-2-2055

## 1 灰色かび病の対策を！

3月定植では収穫が始まっていますが、第4花房前後の葉先枯れ症状が見受けられます。葉先枯れ症状に灰色かび病が見え始めたら、早めに感染部位の摘葉をして防除を実施しましょう。

(1) 耕種的対策 ①感染部位の摘葉 → ②ほ場外搬出

(2) 薬剤防除

①灰色かび病が発生していない場合（予防剤中心）

・ボトピカ水和剤	2000～4000倍	—	—
・園芸ボルドー	500倍	—	—
・ダコニール1000	1000倍	前日	4回

②灰色かび病が発生初期の場合（治療剤中心）

・ダイアメリットDF	1500倍	前日	3回
・アミスター20フロアブル	2000倍	前日	4回
・ファンタジスタ顆粒水和剤	2000～3000倍	前日	3回

## 2 アブラムシ類、アザミウマ類の発生に注意！

晴天、高温が続くと害虫の発生が懸念されます。アブラムシ類やアザミウマ類は雑草に寄生してからハウス内へ飛び込んでくるので、ハウス周辺の雑草をきれいに除草しましょう。また粘着板を設置して発生予察を行います。害虫の発生状況を把握して、適期防除を心がけましょう。

(1) 耕種的対策

①ハウス周辺の雑草(タンポポや白クローバー等が開花する前)を定期的に刈り取る。

②粘着板の設置：黄色の粘着板（アブラムシ類）  
青色の粘着板（アザミウマ類）

100坪ハウスへ20～30枚設置し、発生状況を確認する。

(2) 早期発見・早期防除

粘着板に付着しているのを確認したら、早めに防除を実施する。

①アブラムシ類対策

				マルハナバチ影響日数
・モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	前日	3回	1日
・ウララDF	2000倍	前日	3回	1日

②アザミウマ類対策

				マルハナバチ影響日数
・マッチ乳剤	2000倍	前日	4回	影響なし
・ディアナSC	2500～5000倍	前日	2回	1日

※ 農薬を散布する際には、ラベル等を必ず確認し、作物登録、希釈倍率、使用回数、散布水量、有効期限などを守って適正に使用しましょう。

※ 同一薬剤の連用を避けましょう。

---

## 農薬使用基準は遵守しましょう！

---